

シンポジウム

生命とは何か・人とは何か

——ダーウィン進化論の地平を超えるために——

本年はダーウィン生誕 200 年、『種の起源』出版 150 年にあたる、記念すべき年ですが、生まれて 150 年もたって、なお輝きを失わないダーウィン進化論とはいったい如何なる考え方なのか、改めて知りたい、考えてみたいと思うのは我々だけでしょうか。自然科学だけでなく、社会科学にも大きな影響を与えたダーウィニズムとはいったい何か、今改めて問い直してみたいというのが、この度の趣旨です。その場合、どこまでも批判的に検討すること、それを越え出るための知の新たな地平を切り開くこと。それを目指す意欲が唯一の参加条件です。下記の 4 人が問題提起を行い、あとは分野を超えて自由に論じ合ってみてほしいと思います。「生命」とは何か、「人」とは何かを問うことによって、「進化」ということに関して、新たな考え方を提出できれば幸いです。ふるってご参加下さい。

問題提起

高木由臣	奈良女子大学名誉教授（生物学）
池上高志	東京大学大学院総合文化研究科教（物理学）
麻生 武	奈良女子大学人間文化研究科教（心理学）
小路田泰直	奈良女子大学文学部教授（歴史学）

日時 2009 年 6 月 21 日（日） 午前 9 時～午後 4 時

場所 奈良女子大学理学系 A 棟 1 階 理学部会議室

連絡先 631-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学文学部小路田研究室

Tel/Fax 0742-20-3311